

特色ある教育活動 ESD(持続可能な社会に貢献する教育)の清明

◇「環境教育」「伝統文化」を核にした体験型探究学習

・河川を活用した体験型探究学習を通して「読み取る力」「分析する力」「考察する力」「説明する力」等を育みます。また、地域の伝統文化「下宿囃子」「ふせぎ」について保存会の方々から話を聞いたり、体験したりすることを通し、伝統文化を受け継ぎ、地域愛を育みます。

◇学力向上 ～基礎学習の定着 個に応じた指導 深い学び～

- ・2,3年生と4年生以上のクラスに分かれた清明未来塾(放課後学習室)を各クラス週一回開催し、宿題や算数プリントを行い、学習意欲の向上と基礎学習の定着を図っています。
- ・高学年で教科担任制(理科)教員を配置し、小学校から段階的な教科担任制(分担任)を導入し、中1ギャップを解消します。また、教師の専門性を発揮することで確かな学び、深い学びを追究します。
- ・朝学習、国語科における三文作文への取組、学習の振り返りを書くことを日常的に取り組みさせることを通して自分の考えを書く力を伸ばします。
- ・全学年で算数科の少人数習熟度別学習を行い、分かる楽しさを実感させていきます。
- ・図書委員会、地域ボランティア等による読み聞かせや全学級での朝読書の実施、学校図書館支援員の活用により、読書活動を充実させ、本に親しみ、本から学び、想像力や読解力、豊かな心を育みます。

◇居場所づくり

・家庭と子供の支援員、スクールカウンセラー等を活用した登校支援や居場所づくりを実施します。

柳瀬川体験型探究学習



特別支援学級と3年生以上が柳瀬川体験型探究学習を実施しています。ガサガサ体験や河川調査では、学校支援地域本部や清瀬市コミュニティハウス、グローブライド株式会社の方にご協力をいただいています。

ビオトープ体験学習



3年生が清瀬下宿ビオトープ公園で、春夏秋冬の季節ごとに変化する自然の様子を体験しながら学習します。ビオトープを育む会の方に協力をいただいています。

下宿囃子体験学習



4年生が地域の伝統を調べたり、江戸時代後期から伝わる下宿囃子を保存会の方々から教わったりしながら口伝で受け継がれてきたものを学びます。

ふせぎ縄踊り体験



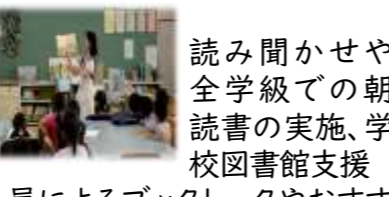
6年生が清瀬の伝統行事である「ふせぎ」祭りの縄の踊り体験をします。体験では、清瀬下宿ふせぎ保存会の方々から教わりながら、「ふせぎ」の基本である縄の踊り方を習い、地域学習をしています。

清明未来塾

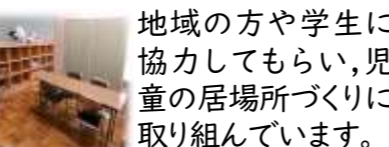


2,3年生クラスと4年生以上のクラスに分かれて、少人数で算数の補習学習や宿題等を行っています。東京ベーシックドリル等を用いて基礎的な内容から取り組みます。

読書活動・居場所づくり



読み聞かせや全学級での朝読書の実施、学校図書館支援員によるブックトークやおすすめの本、新刊の紹介等を通して読書活動を充実させています。図書館開放に取り組んでいます。



地域の方や学生に協力してもらい、児童の居場所づくりに取り組んでいます。



令和8年度 学校要覧

清瀬市立清明小学校

開校24周年 6月25日

ユネスコスクール加盟校

【教育目標】

清く明るく豊かな心を持ち、すすんで学ぶ児童の育成を目指す。

◎よく見つめ よく考える子 ○親切で思いやりのある子 ○健康でたくましい子

皆が笑顔になれる わたしたちの学校

校歌「みどりの風」
作詞 関根 榮一
作曲 山本純ノ介

友だち 先生
うれしい 顔よ
いのちの 今が あふれてる
ぶんきょうは 楽しく
よく見て 聞いて かんがえる
清明小 おお のびのびと

うたは みどりの 風になる
ゆめは あしたの 虹を画く
清明小 ああ 美しく

青空 むさし野
もえる けやき
きたえるからだ はちきれる
たくましく 明るく
清明小 おお いきいきと

～清明小学校 校章の由来～

「せ」の文字をモチーフに、その中に小学校の「小」を配し、緑豊かな自然に恵まれた環境にある清瀬地域の学び舎で、明るく元気に新しい時代を生きる子供たちが、芸術・スポーツ・文化と生き生きと共生し、未来に向かって羽ばたき、若葉のようにたくましく成長する姿を表しています。

H14.4.1	清瀬市立清明小学校設立 初代 中山 悦夫 校長 着任	H29・30年度	東京都ESDに向けた教育推進校
H14.6.25	開校記念日	H30.4.1	第6代 菊地 俊一 校長 着任
H15・16年度	文科省学力向上7077事業研究委託校 東京都フロンティアスクール指定校	H31.4.1	第7代 川勝 肇恵 校長 着任
H16.4.1	第2代 田中 久 校長 着任	H31年度	清瀬市教育課題研究推進校(食育)
H17年度	情報モラル教育課題研究推進校	R1.7~8月	校舎大規模改修工事
H18年度	清瀬市学校研究指定校	R2年度	コデ イノベーション・地域拠点校(東京都)
H20.4.1	第3代 本徳 文恵 校長 着任	R3.2.18	東京都学校歯科保健優良校表彰
H20年度	清瀬市学校研究指定校	R3.7~8	体育館空調設備設置工事
H21・22年度	清瀬市学力向上推進モデル校 東京都スポーツ教育推進校	R4.1.13~1.18	トイレ洗面台自動水栓工事(12台)
H23.4.1	第4代 佐藤 強 校長 着任	R4.11.26	開校二十周年記念集会
H24年度	東京都教育委員会 OJT 推進指定モデル校	R5.4.1	第8代 渋谷 正芳 校長 着任
H24.11.17	開校十周年記念式典挙行	R5年度~8年度	河川教育基金助成事業校
H25年度	ユネスコスクールに加盟承認 清瀬市特別支援教育推進モデル校	R5.7.3~9.29	体育館改修工事
H26.4.1	第5代 清水 一臣 校長 着任	R6.4.1	知的固定学級(あおぞら)開級
H27・28年度	清瀬市アクティブラーニング推進校	R7.4.1	コミュニティ・スクール事業開始
		R7年度~8年度	東京都教科担任制(理科)加配校
		R8.4.1	ユネスコスクール SDGsアシストプロジェクト校 東京都日本語指導加配校(国際教室開室) 清瀬市学力向上研究実践校

清明小学校の一年間 主な学校行事・活動予定

4月 7日 始業式	9月 1日 始業式	1月 7日 始業式
4月 9日 入学式	9月 8日 4年多摩六都科学館	1月 26日 入学説明会
6月 20日 土曜授業公開	10月 15日～17日 (土) 清瀬教育の日公開授業・道徳授業地区公開講座	2月 19～20日 (土) 展覧会
7月 16～18日 (土) 2泊3日 6年日光修学旅行	10月 24日 運動会	3月 24日 修了式
7月 22日 終業式	11月 13日 水泳指導開始	3月 25日 卒業式
7月 23日～ 夏季個人面談週間 サマースクール	12月 17日 5年音楽鑑賞教室	※毎月 避難訓練
	12月 25日 終業式	※各学年の生活科・社会科見学 有



毎月の縦割り班活動



校内研究「学級活動」



日々の学習

サマースクール

- ☆リコーダー教室
- ☆図工教室
- ☆図書館開放



11月子どもまつり



10月運動会 徒競走、団体競技、リズムダンス表現



1月学習発表会 ※R8は展覧会



体力向上 ☆マラソン旬間 ☆縄跳び集会



【目指す学校像】

皆(子供たち、教職員、地域・保護者)が笑顔になれる わたしたちの学校

- 1 子供一人一人が自分らしさを生かして、成長できる学校
- 2 教職員の個性や能力が発揮され、やりがいと誇りのもてる学校
- 3 「わたしたちの学校」と誰もが誇りに思い、保護者や地域と協働して子供を育てる学校

【目指す児童像】

- 1 学習の基礎基本を身に付け、自分で考え、問いを立て、他者と協働しながら学び続ける子供
- 2 自分も相手も大切にする気持ちを、言葉や態度で表すことができる子供
- 3 互いに協力して活動し、よりよい学校生活を創り出そうとする子供
- 4 すすんで運動に親しみ、よりよい生活習慣を身に付け、心身共に健康な体をつくらうとする子供
- 5 何ごとにもねばり強く取り組み、最後までやりぬく子供
- 6 地域の一員であるという自覚をもって行動する子供

【行動目標(生活・学習)】

- (あ) 挨拶をすすんでできる人
- (い) 一生懸命に何でも挑戦し続ける人
- (う) 運動にすすんで取り組む人
- (え) 笑顔のすてきな人
- (お) 思いやりのある優しい言葉や行動ができる人
- (か) 書く : 分かりやすく伝える
- (き) 聞く : 大事なことを落とさずに聞く
- (く) 繰り返す : 復習を通して理解を深める
- (け) けじめをつける : 集中して取り組む
- (こ) 好奇心をもつ : 問題・課題を発見し主体的に学ぶ

◆ 学級数・児童数(令和8年4月9日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	あぞら	計
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16
児童数	男	38	25	26	31	35	32	18
	女	25	22	24	33	33	35	12
計	63	47	50	64	68	66	30	389

※インターナショナル、フリースクール等の通学者3名含む

※卒業生総数1708人

◆ 教職員組織

校長	渋谷 正芳	副校長	芦澤 マユミ
1年1組		1年2組	
2年1組		2年2組	
3年1組		3年2組	
4年1組		4年2組	
5年1組		5年2組	
6年1組		6年2組	
音楽		図画工作	
理科(教担任)		算数少人数	
日本語教室		養護	
あおぞら1		あおぞら2	
あおぞら3		あおぞら4	
あおぞら4		特支専門員	
巡回指導員(きりり)		巡回指導員(きりり)	
講師		ALT	
講師		講師	
講師		講師	
講師		講師	
栄養士		軽装職員	
都事務支援員		市事務	
総務支援員		教育支援員	
管理職支援員		教育支援員	
SSS		EDA	
調理員		調理員	
調理員		調理員	
調理員		調理員	
SC		巡回心理士	
学校図書管理員		用務	
施設管理員		施設管理員	

※EDA:エデュケーションアシスタント SSS:スクールサポートスタッフ SC:スクールカウンセラー



※学校経営計画(教育活動の目標と方策等についての詳細)は学校ホームページ、校長挨拶、関連ファイルで御覧できます。

【第3次清瀬市教育振興計画】子どもが育つ 市民が育つ まちも育つ 清瀬の教育

- 1. 学校教育の充実
 - (1) 確かな学力を育成
 - (2) 豊かな人間性を育成
 - (3) 健やかな体を育成
 - (4) 一人一人の教育の充実
 - (5) 教育環境を強化・充実
- 2. 地域による子どもの育ちや学びの支援
 - (6) 子どもたちの成長を地域で支える確実な連携を高める
 - (7) 地域と協働した学校での学びの充実
 - (8) 子どもたちの安全な居場所を充実
- 3. 生涯学習・文化・芸術・スポーツの支援
 - (9) 世代を超えた学びの機会を提供
 - (10) 市民文化・芸術の振興を推進
 - (11) 気軽にスポーツ活動に親しめる機会を提供

【教育目標】

- ◎よく見つけよう 考える子
- ◎親切に思いやりのある子
- ◎健康でたくましい子

【目指す学校像】

- 1. 笑顔になれるわたしたちの学校
- 2. 子供一人一人が自分らしさを生かして、自他共に成長できる学校
- 3. 教職員や保護者の力が組織の中からも発揮され、やりがいと誇りのあふれる学校
- 4. 「わたしたちの学校」と誰もが誇りに思い、保護者や地域と協働して子供を育てる学校

【目指す児童像】

- 1. 学習の基礎基本を身に付けて、他者と協働しながら学び続ける子供
- 2. 自分も相手も大切にできる気持ちをも、言葉や態度で表すことができる子供
- 3. 互いに協力して活動し、よりよい学校生活を創り出すことができる子供
- 4. すすんで運動に親しみ、よりよい生活習慣を身に付け、心身共に健康な体をつくろうとする子供
- 5. 何ごとにもねばり強く取り組み、最後までやりぬく子供
- 6. 地域の一員として自覚をもつ子供

【行動目標(生活・学習)】

- (あ)挨拶をすんでから話す人
- (い)一生懸命に向き合っている人
- (う)運動にすすんで取り組む人
- (え)笑顔のすてきな人
- (お)思いやりのある優しい言葉や行動ができる人
- (か)聞く
- (き)思いやりを伝える
- (こ)聞く
- (く)繰り返す
- (け)けじめをつける
- (こ)好奇心をもつ

【今年度の取組目標と方策】 教育活動の目標と方策(1年間の学校の教育活動全般についての指針)

1 子供一人一人が自分らしさを生かして、自他共に成長できる学校

1. 学習の基礎基本を身に付けて、他者と協働しながら学び続ける子供
 ◎学ぶ喜びが味わえる魅力ある授業・活動を展開し、基礎学力の向上と生き抜く力を育む。
 ① 意図的・計画的な学習指導への取組
 ・学習における「**聞く**」「**聞く**」「**繰り返す**」の取組を大切にする。
 ・単元で児童に付与する時間や1単元あたりの流れやめあめを明確にした授業・板書計画を立て、適宜、具体物やデジタル機器を利用し、学びを大切に授業を行う。
 ② 児童の主体的・対話的な深い学びを大切に学習指導への取組
 ・「子供が考える時間」「対話を生む場面」「振り返りの活用」を大切に授業を行う。
 ・知識として入る→納得する→活用する。段階的な深まりとなるように、納得を引き出すための発問や活用した問いの学習について振り返る時間を設ける。
 ・児童が自己の学習や問題解決型学習ならびに総合的な学習の時間に取り組む。
 ・理科加配教員を中心に高学年での教科担任制ならびに学年での教科担任制を実施する。また、算数科では、多人数授業を全学年で実施し、確かな学びと深い学びになるように授業改善を行う。
 ・全校朝学習や学年で実施し、確かな学びと深い学びになるように授業改善を行う。
 ③ 特色ある教育「ESD」の推進
 ・地域に根ざした「環境教育」や「伝統文化教育」を核に、体験型探究学習を通して、多面的・総合的に考える力や生き抜く力を養う指導を行う。
 ・各教科で身に付けた知識・技能を他教科でも活用できるように「ESD」を「説明する力」「分析する力」「読み取る力」「考察する力」を育む授業を行う。
 レンダラー」を活用し、「読み取る力」「分析する力」「考察する力」を育む授業を行う。

2. 自分も相手も大切にすることを大切に、思いやりを育むことができる子供
 ◎人と人の関わり合いを大切に、思いやりのある児童を育成する。
 ① 人権教育の推進
 ・自他の命の大切さや互いの違いを認め合う活動を各教科に組み込んで実践するとともに、教職員が児童の命の大切さを大切にした指導を行う。
 ・命の大切さを学ぶ教育や高齢者理解教育、障がい者理解教育を各学年で実施する。
 ・いじめアンケートやいじめ対策委員会などを通じ、いじめの未然防止と早期発見、早期解決に向けた組織的な対応に努め、未解決案件ゼロにする。
 ・スクールカウンセラーとの全学年(5年)や全学年で子供面談を実施する。
 ② 挨拶運動の推進
 ・自己の気持ちを他者に示す行為である「返事」、他者との心の交流の表れである「挨拶」、他者への思いやりを大切に示す行為である「後始末」の三つの指導の徹底を図る。
 ・児童に対して教職員は、率先して挨拶の受けや教室等であいさつブラス一言を添えて迎える。

3 「わたしたちの学校」と誰もが誇りに思い、保護者や地域と協働して子供を育てる学校

3. 互いに協力して活動し、よりよい学校生活を創り出すことができる子供
 ◎様々な集団活動に主体的・実践的に取り組むことを通じて、自律的に共に助け合える児童の育成
 ① 学校行事・特別活動の充実を図る
 ・校庭活動や学校行事でのよりよい学年活動等を行い、児童が互いの認めあふれた目標に向かって努力したりする場を設ける。また、学級活動や様々な行事を通して、喜びや達成感を味わわせるとともに挫折や失敗から学び、再びチャレンジして活躍できる児童を育てる活動を行う。
 ② 通達教育の充実を図る
 ・自己の生き方について考えを深める学習を通して、よりよく生きるために必要な規範意識や道徳的な判断力と生命を尊重する心や思いやりの心を育み、実践力を育むための「特別の教科 道徳」の授業を計画的に行う。
 4. すすんで運動に親しみ、よりよい生活習慣を身に付け、心身共に健康な体をつくろうとする子供
 ◎すすんで体を動かす、健康でねばり強い児童の育成
 ① 日常の運動の推進
 ・体力テストや体育学習等児童の実態を考慮し、課題を克服する指導改善や運動環境の整備に取り組む。
 ② 健康学習の推進
 ・運動の日常化と生活習慣の改善を図るため、外遊びを励む。
 ・栄養士と連携した食育学習を計画的に行う。
 5. 何ごとにもねばり強く取り組み、最後までやりぬく子供
 ◎一生懸命に向き合っている児童の育成。
 ① キャリア教育の推進
 ・キャリア教育全体計画に基づき各教科・領域との関連を図ると共にキャリア・アイズ・ポートも活用することによってキャリア教育を推進する。
 ・将来の夢・進路等、発達段階に応じて自分自身で意思決定をして決めていくことができるよう指導を行う。
 ② 特別活動の充実を図る
 ・様々な集団活動、行事等において、めあて達成に向けて自主的・実践的に取り組めるよう特別活動、行事等の取組を系統性や連続性を踏まえて改善する。

6. 地域の一員として自覚をもつ行動する子供
 ◎保護者や地域を活用した教育活動に取組み、児童と地域の方との交流を促進する。
 ① 学校運営協議会・学校支援本部との連携を図る
 ・透明な来賓や図書開帳、学習活動等、地域・保護者のボランティア、講師と連携した教育活動を全学年で行う。
 ② 地域連携への取組
 ・地域を誇りに思い、愛する心情的育成するため、地域の伝統文化や環境地を顕彰し、地域の未来をよりよくしていくこととする。
 ・体験的な教育活動を行う。
 ・近隣幼稚園や保育園、地域にある施設との交流を実施する。
 ・保・幼・小・中連携教育の9(1)年間の学びの連続性を意識した教育活動計画の工夫改善に取り組み、また、近隣幼稚園や保育園、地域にある施設との交流を行う。特別活動行事等を中心として、各教科との連携した活動を行う。
 ・教員が積極的に地域行事へ参加するとともに、地域と連携したボランティア活動を推進する。
 ③ 情報発信の取組
 ・ホームページの定期的な更新を行う。
 ・学校だより、保健だより、特別支援教育だより等を活用して教育活動を発信する。
 ④ 学校図書室活用の充実を図る
 ・図書ボランティアを活用し、読書に親しむ環境整備を行うとともに長期休業中や学期に一回の図書開帳を行う。
 ・学校図書専任司書を全学年の図書時間に配置し、オリエンテーション、読み聞かせ、ブックトーク、ピア・オリエンタル等の実施による読書活動の充実を図る。
 ・学校図書専任司書と連携したリテラシーによる学習を行う。
 ・市立図書館と連携した学習の充実にも3年生以上が図書館を使った読書活動や学習コンクールや読書の100冊読書感想文コンクールに取り組む。

特別支援教育(知的固定)あおぞら学級

あおぞら学級の教育目標

- 学校の教育目標を踏まえ、児童の発達や障害の状況に応じた個別の発達課題を的確に把握し、個に応じた教育を行う。
- 自ら考え行動する子(生きていくために必要な基礎的・基本的な知識・技能を育む。)
- 自分も相手も大切にできる子(人とかかわり合い思いやりの心・生命や自然尊重の心を育む。)
- 心身共に健康な子(基本的生活習慣の定着・身辺自立・最後までやり抜く心を育む。)

運営方針

- すべての児童が、豊かな関わりの中でともに生活できるようにする。
- 個に応じた適切な指導・支援を行う。

◆ 特別支援学級に在籍する児童が、日常的に交流している同学年の通常の学級を「交流学級」と称しています。

すべての児童が、豊かな関わりの中でともに生活できるようにするために

すべての児童が、関わり合い、学び合う教育を目指し、特別支援学級の児童が、交流及び共同学習を通して、同学年の一員として学校生活をともに過ごす時間を多く確保しています

【例】

- 特別支援学級の児童の実態に応じて交流学級の教室にも机と椅子を配置するとともに、ロッカー、靴箱、傘立て等を、50音順に配列しています。
- 特別支援学級の児童は、交流学級の児童とともに、全校講話や学校行事等に参加します。
- 特別支援学級の児童の実態に応じて、交流学級の教室にて朝の会や帰りの会に参加するとともに、日直、給食当番、係活動など、学級でのさまざまな役割分担をしています。
- 特別支援学級の児童を含むすべての児童が、縦割り班に分かれて、縦割り班活動を行っています。

一人一人の児童が、確かな学力を身に付けることができるようにするために

一人一人の児童に対して、必要に応じて個別の指導や支援を行っています

- すべての児童に対して、通常の学級の担任、特別支援学級の担任、講師、専門員、及び特別支援教育コーディネーターが連携して、きめ細かく指導や支援を行っています。
- 個に応じた指導・支援が必要な児童は、「個別指導計画」に基づき、一人一人異なる時間割により学習しています。教科等によって、交流及び共同学習を行ったり、特別支援学級の教室(あおぞら1・2・3・4教室)で個別学習やグループ学習を行ったりしています。

児童数	学年							計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
男	2	4	3	1	4	4	18	
女	2	2	1	3	0	4	12	
計	4	6	4	4	4	8	30	

1 特別支援学級「あおぞら」とは

特別支援学級(知的固定)の「あおぞら」です。

「あおぞら」は、「実際の生活場面に即しながら、繰り返して学習することにより、必要な知識や技能等を身に付けられるようにする、継続的・段階的な指導を行う」場です。最適な学習環境を設定し、一人一人の特性・課題に応じた指導を行います。「あおぞら」が「安心して自分の居場所」となるよう、一人ひとりのよさを認め、伸ばし、成長を見守り、支えています。

～あおぞらで学ぶ児童の願い(例)～



2 あおぞら担当教員

あおぞら1担任		あおぞら2担任	
あおぞら3担任		あおぞら4担任	
あおぞら4担任		理科総合(講師)	
音楽(講師)		図画工作	

*「交流及び共同学習」を行う場合は交流学級の担任も指導します。

3 「あおぞら」での学び

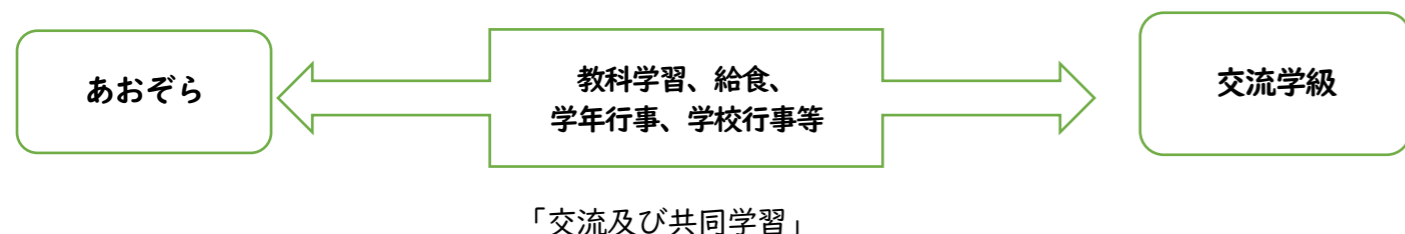
【学びの形】 1つの学級に複数の学年で構成される複式学級です。(一学級最大8名。担任1~2名)

「生活班」と「学習班」の2つの小集団に所属します。

生活班…各学年で構成した小集団。

学習班…児童の特性等を考慮して構成された異学年小集団。

【学びの場】 基本「あおぞら」です。「交流及び共同学習」の時間として交流学級で学ぶ場合もありますが、児童の実態や保護者の意向等を考慮した上で決定し、教科やその時間数も児童実態や保護者の意向等を考慮した上で決定し、教科やその時間数も児童によって異なります。



【学びの特色】

各教科の学習に加え、各教科等を合わせた指導として「生活単元学習(あおぞらタイム)」を行います。詳細は「4 生活単元学習について」また、「日常生活の指導」も学校の教育活動全体を通して行います。

「日常生活の指導」では、靴の履き替えや荷物の整理、着替え、排泄、手洗いなど日常生活に欠かせない動作や知識の習得を目指して行います。



4 生活単元学習(あおぞらタイム)について

生活単元学習は児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、実際の・総合的に学習するものです。

<指導内容>※広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。例えば…

〇〇に行こう (歩行学習)	畑で野菜を育てよう (栽培実習)	〇〇クッキング (調理実習)	四季の行事を体験しよう (季節の学習)

5 清明の支援体制について

清明には児童の実態に応じて適切な指導や支援を行うための場があります。

教室や学級により様々な違いがあります。違いを知ることによって、児童にとって適切な支援を得ることができます。

	特別支援学級「あおぞら」	特別支援教室「きらり」
学習の場	あおぞら学級・交流学級 (児童の実態に応じて)	きらり教室・在籍学級
指導内容	学習指導 (各教科・各教科等を合わせた指導) 生活指導	自立活動 (学習指導なし)
指導形態	小集団指導・交流学級内支援	個別指導・小集団指導 在籍学級内支援
在籍学級	あおぞら学級	在籍学級
入室・入級	原則年度初め	年度途中可
在籍期間	児童の実態に応じて	原則1年
保護者会 個人面談	保護者会 年2回 個人面談 年3回 予定	保護者会 なし 個人面談 年3回 予定

質問や相談は随時受け付けています。
遠慮なくあおぞら担任にご連絡ください。

電話 042-493-4315

